

名古屋大学 大学院工学研究科
機械システム工学専攻長 教授

松本 健郎



2017 年 名古屋大学テクノサイエンスセミナー開催報告

名古屋大学工学部では、毎年夏休みに、東海地区の高校生を対象にテクノサイエンスセミナーを開催しています。このセミナーは、進路を模索する高校生に、大学で行っている最先端の研究に触れ、研究者と交流する中で何かを感じてもらい、工学に対して新たな興味を持ってもらうことを目的に、平成 8 年度から学科持ち回りで開催しており、今回は 4 年ぶりに機械航空系の担当となりました。

前回までは、IV 系内の各専攻で交替で実施していたのですが、新学科体制になったことから、機械航空系全体として対応すべきだとの声が強まり、機械システム工学専攻が世話専攻となり、マイクロ・ナノ機械理工学専攻、航空宇宙工学専攻との合同で、「新たな機械・航空宇宙工学に触れてみよう」というテーマの下、2017 年 8 月 9 日（水）に開催致しました。

- ① 飛べ！！ ドローン
- ② モーションキャプチャによる 3D バイオメカニクス計測
- ③ バイオマスエネルギー
- ④ 水路内での液体混合実験
- ⑤ 10 億分の 1 メートルが創る最先端接着技術！！
- ⑥ 光る分子を使って空気の流れを見てみよう！
- ⑦ エアリアルロボットのシステム・デザイン
- ⑧ 航空宇宙工学と先進複合材料
- ⑨ 航空機をプログラミング！
- ⑩ 衝撃波を制御する
- ⑪ 工作機械工学の最前線を体験しよう

の 11 テーマで参加者を募集しましたところ、55 名の募集人員に対して、愛知・岐阜・三重の 3 県の高校から 1 年生から 3 年生まで合せて 100 名もの応募があり、

断腸の思いでくじ引きを行い、58名を採択致しました。

当日は、朝 10 時より開会式で学科の説明や実験する際の注意を行った後、11 時より各グループに分かれてミニ講義、お昼休みを挟んで 15 時過ぎまで実験、その後、閉会式と教員・TA の学生を交えての交流会、という順番で進めました。後で受講生アンケートを見ましたが、「実験が楽しかった」、「最先端の技術に触れられてよかった」、「工学への興味が高まった」、「名大に進学したくなった」など大変好評で、彼らが大学を受験する際に、機械航空系の人気が高まることを予感させる結果でした。

末筆になりましたが、幹事の義家 亮先生を始めとする実行委員会の先生方、さらには実際に講義・実験を担当下さった研究室の皆様、また、財政的支援を賜りました名古屋産業科学研究所に感謝申し上げます。